

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 イマジニア株式会社
 コード番号 4644 URL <http://www.imagineer.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 神藏 孝之
 (氏名) 中根 昌幸

TEL 03-3343-8911

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,826	△13.1	952	△14.1	982	△10.2	540	—
21年3月期第3四半期	4,404	—	1,109	—	1,094	—	32	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	54.12	—
21年3月期第3四半期	3.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	8,579	7,384	86.1	743.80
21年3月期	8,215	7,208	87.7	710.02

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 7,383百万円 21年3月期 7,208百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
22年3月期	—	10.00	—		
22年3月期(予想)				12.00	22.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	△11.2	1,100	△9.8	1,100	5.0	600	—	60.09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 10,649,000株 21年3月期 10,649,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 722,390株 21年3月期 496,250株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 9,984,968株 21年3月期第3四半期 10,507,985株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報を参照してください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の国内経済は、海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、景気は持ち直しの動きがあるものの、企業収益は大幅な減少、高水準の失業率、為替は円高が進行、物価動向はデフレ状況などの依然として厳しい状況にあり、先行きについても不透明な状況にあります。

当社グループの主力事業であるモバイルコンテンツ事業を取り巻く環境につきましては、電気通信事業者協会の調べにおける平成21年12月末現在では、携帯電話の契約数は110百万台（前年同期比4.5%増）となっており、その内、第三世代携帯電話の契約数は106百万台と全体の契約数の96.0%を占めております。

このような経営環境下におきまして、景気動向を考慮しながら、中長期的な経営基盤を強固にすることを旨として、既存事業の拡大と新規事業の推進を当連結会計年度の経営方針としております。

既存事業では、引き続き、キャラクター、教育関連などのコンテンツを複数事業で活用する事業間シナジーを図っております。また、新規事業では、前連結会計年度に開始した投資教育事業の事業化へ向けたマーケティング活動を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,826,852千円（前年同期比13.1%減）、営業利益952,491千円（前年同期比14.1%減）、経常利益982,542千円（前年同期比10.2%減）、四半期純利益540,454千円（前年同期は32,172千円の四半期純利益）となりました。

なお、事業別セグメントの業績は、次のとおりであります。

（モバイルコンテンツ事業）

モバイルコンテンツ事業におきましては、キャラクター分野の有料サイトに注力するとともに、新規サイトの立ち上げにも努め、人気上昇中のキャラクターのサイト「かものはしかも。」を始めとして「えもじstyle」「スペランカー」など新たに8サイトのサービスを開始しました。また、収益性の向上を図るため、不採算サイトの統合・閉鎖を行いました。

上記の結果、有料・無料を合わせ107サイトを運営しております。業績においては、売上高3,036,017千円（前年同期比0.7%減）、営業利益1,148,514千円（前年同期比6.1%増）となっております。

（モバイルコマース事業）

モバイルコマース事業におきましては、前連結会計年度に引き続き、キャラクターを取り扱った、モバイルサイト上でのグッズ販売とライセンス及びセールスプロモーションビジネスを行っております。

上記の結果、売上高269,526千円（前年同期比30.1%減）、営業損失281千円（前年同期は39,027千円の営業利益）となっております。

（パッケージソフトウェア事業）

パッケージソフトウェア事業におきましては、家庭用ビデオゲーム機のニンテンドーDS及びWii向けのパッケージソフトを中心として、「Open! Study」、「Enjoy! Diet」のユーザーへの浸透を図っており、新たに「英検過去問題収録 英検DS2デラックス」「リラックマ★リズム まったり気分であららん♪」などのタイトルを発売しております。

また、Wii向けタイトル「シェイプボクシング Wiiでエンジョイダイエット!」は、海外展開をするため、ソフトメーカーに対してのライセンス提供も行いました。

上記の結果、売上高547,459千円（前年同期比44.9%減）、営業利益99,884千円（前年同期比60.3%減）となっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して363,538千円増加した8,579,329千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が1,693,255千円の増加となったものの、流動資産のその他が1,187,850千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して188,219千円増加した1,195,110千円となりました。その主な要因は、未払法人税等201,414千円の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して175,319千円増加した7,384,218千円となりました。その主な要因は、四半期純利益の影響により利益剰余金が540,454千円増加したものの、剰余金の配当により利益剰余金が221,099千円減少し、また、自己株式の取得を行ったことから自己株式が148,122千円の増加となったことによるものであります。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、6,295,280千円と前連結会計

年度末より1,693,255千円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,175,677千円(前年同期比117.0%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益977,536千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は822,734千円(前年同期は534,903千円の資金減少)となりました。これは主に、前連結会計年度に売却した投資有価証券が、投資有価証券の売却による収入844,193千円として影響したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は296,604千円(前年同期は331,279千円の資金減少)となりました。これは、自己株式の取得による支出149,925千円及び配当金の支払額146,678千円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想の詳細につきましては、平成21年10月23日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」から修正しております。詳細につきましては、平成22年1月29日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により、四半期連結会計期間又は期首からの累計期間の減価償却費として計上しております。

・棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

・経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

工事契約に関する会計基準の適用

受注制作のソフトウェア(ソフトウェアの請負契約)に係る収益の計上基準については、従来検収基準を適用していましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手したプロジェクトから、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるプロジェクトについては進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)を、その他のプロジェクトについては検収基準を適用しております。

なお、これによる売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,295,280	4,602,025
受取手形及び売掛金	1,235,012	1,296,231
商品及び製品	19,368	35,090
仕掛品	23,446	1,700
原材料及び貯蔵品	244	244
その他	126,537	1,314,387
貸倒引当金	△49,513	△34,155
流動資産合計	7,650,376	7,215,524
固定資産		
有形固定資産	66,601	80,477
無形固定資産		
のれん	3,002	12,009
その他	28,871	35,229
無形固定資産合計	31,874	47,238
投資その他の資産		
投資有価証券	510,437	538,707
その他	367,198	386,401
貸倒引当金	△47,159	△52,559
投資その他の資産合計	830,476	872,549
固定資産合計	928,952	1,000,265
資産合計	8,579,329	8,215,790
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,731	2,575
営業未払金	630,927	612,523
未払法人税等	270,311	68,897
賞与引当金	28,215	—
その他	237,924	322,895
流動負債合計	1,195,110	1,006,891
負債合計	1,195,110	1,006,891

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	2,720,040	2,400,685
自己株式	△448,487	△300,365
株主資本合計	7,406,576	7,235,343
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△23,093	△26,615
評価・換算差額等合計	△23,093	△26,615
新株予約権	735	172
純資産合計	7,384,218	7,208,899
負債純資産合計	8,579,329	8,215,790

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	4,404,101	3,826,852
売上原価	2,101,518	1,737,341
売上総利益	2,302,582	2,089,510
販売費及び一般管理費	1,193,577	1,137,018
営業利益	1,109,005	952,491
営業外収益		
受取利息	10,677	—
有価証券利息	10,150	—
受取配当金	20,023	25,420
その他	7,055	18,167
営業外収益合計	47,907	43,587
営業外費用		
投資事業組合運用損 為替差損	19,041	3,181
その他	39,777	8,551
その他	3,525	1,803
営業外費用合計	62,344	13,536
経常利益	1,094,567	982,542
特別利益		
投資有価証券売却益	9,213	—
特別利益合計	9,213	—
特別損失		
固定資産除却損	—	5,006
投資有価証券評価損	923,751	—
その他	12,761	—
特別損失合計	936,513	5,006
税金等調整前四半期純利益	167,268	977,536
法人税、住民税及び事業税	487,785	294,340
法人税等調整額	△352,690	142,740
法人税等合計	135,095	437,081
四半期純利益	32,172	540,454

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	167,268	977,536
減価償却費	24,259	21,077
のれん償却額	9,007	9,007
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	16,030	9,958
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28,215	28,215
受取利息及び受取配当金	△40,851	△26,559
為替差損益 (△は益)	39,806	8,551
投資有価証券売却損益 (△は益)	2,949	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	923,751	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	19,041	3,181
売上債権の増減額 (△は増加)	△109,317	61,219
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△55,455	△6,024
前渡金の増減額 (△は増加)	38,570	23,634
仕入債務の増減額 (△は減少)	69,712	25,156
営業未払金の増減額 (△は減少)	30,311	18,403
未払金の増減額 (△は減少)	△129,259	△152,938
未払消費税等の増減額 (△は減少)	25,099	—
その他	17,426	20,626
小計	1,076,568	1,021,045
利息及び配当金の受取額	43,321	30,026
法人税等の還付額	20,436	239,805
法人税等の支払額	△598,540	△115,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	541,785	1,175,677
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,326	△2,393
投資有価証券の取得による支出	△573,960	△13,692
投資有価証券の売却による収入	61,036	844,193
無形固定資産の取得による支出	△1,251	△4,372
短期貸付けによる支出	△15,000	—
その他	9,599	△1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△534,903	822,734
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△171,174	△149,925
配当金の支払額	△160,105	△146,678
財務活動によるキャッシュ・フロー	△331,279	△296,604
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39,806	△8,551
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△364,203	1,693,255
現金及び現金同等物の期首残高	4,937,238	4,602,025
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,573,034	6,295,280

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマー ス事 業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,046,704	377,285	980,111	4,404,101	—	4,404,101
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9,500	8,037	13,548	31,085	(31,085)	—
計	3,056,204	385,323	993,659	4,435,187	(31,085)	4,404,101
営業利益	1,082,956	39,027	251,509	1,373,493	(264,487)	1,109,005

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマー ス事 業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,022,517	263,111	541,224	3,826,852	—	3,826,852
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	13,500	6,415	6,235	26,150	(26,150)	—
計	3,036,017	269,526	547,459	3,853,003	(26,150)	3,826,852
営業利益（又は営業損失）	1,148,514	(281)	99,884	1,248,117	(295,626)	952,491

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。